

活動名 虹の鯉のぼりプロジェクト	団体名	浅江まちづくりの会
	地域	山口県光市
	代表者	代表 矢部 東洋司
	支援金額	20万円
活動概要		
<p>前回、助成をいただき開催した「虹の鯉のぼりプロジェクト」。</p> <p>もともとは、地元地域の浅江中学校の生徒が東日本大震災の被災地を訪れて学ぶシンサイミライ学校交流会に参加し、東松島市の「青い鯉のぼりプロジェクト」の事を知り地域に発表したことがキッカケだった。その後、市内の他中学校 2 校の生徒たちがシンサイミライ学校交流会に参加したり、独自に被災地に想いを寄せて活動を行う中学校が出てきた。そこで、今年市内全中学校の活動発表の場をつくった。それと共に、青い鯉のぼりをはじめ他の色の鯉のぼりも集め、市内全域を巻き込んで光市虹ヶ浜海岸に鯉のぼりを掲げ、東日本大震災を、中学生たちが学んできた事、想いを忘れずに市内全域に広げるプロジェクトである。</p> <p>◆実施時期 4/26～5/9（設置 4/25～撤去 5/10） 場所：山口県光市虹ヶ浜</p> <p>◆参加人数 鯉のぼり掲揚日 12 日間（2 日間は雨で掲揚できず）：来場者数 3,000 名以上 5/2（土）「虹の鯉のぼりの下に集う会」：参加者 150 名 参加総人員：3,150 名以上</p>		



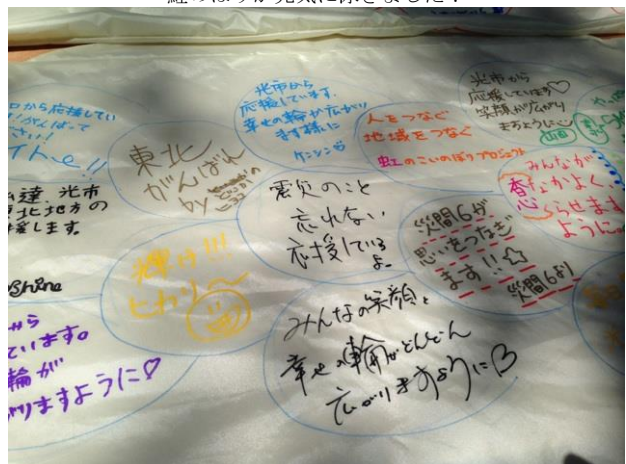
みんなで合唱



鯉のぼりが元気に泳ぎました！



浅江中学生たちの土囊づくり



東北に向けた寄せ書きメッセージ

◆実施に伴う効果

今回、浅江地区のみでなく市内他中学校の活動紹介も行った事によって、来場者も増えて共感いただけるプロジェクトになった。また、中学生たちが取り組んでいる「15歳は地域の担い手」という地域ボランティア活動を地域の人たちに知っていただけたことが大きな成果だと思う。

◆苦勞した点

- ・今回、市内の中学校、地元浅江地区の幼稚園・保育園にも協力をいただいた。しかし、当初計画にあった式典の時に市内中学校の生徒たちにも来場してもらい活動を発表してもらうには、学校という立場から他地域の団体が主催する行事へ参加するという事が難しく、実現できなかった。
- ・ちょうど年度替わりの時期で生徒が変わり、先生も異動で変わったりと調整の難しさを感じた。

◆今後の課題・発展の方向性

地域の活動を市内全体に広げる事の難しさを感じる年となった。しかし、掲示や式典によって東日本大震災から学んだ中学生の思い・活動を訪れた多くの方に知っていただき、また、Facebook ページを立ち上げた事によって共感を呼んで市内外に広がりを見せた。今後は、まだ「シンサイミライ学校交流会」に参加していない市内残りの2校もこの夏に参加するので、来年は市内の公立中学校全ての活動を発表すると共に、当会主催から実行委員会のような組織にして他団体とのパートナーシップを強めて続けていきたいと思う。

また、東松島市の「青い鯉のぼりプロジェクト」の伊藤君たちを呼んで太鼓演奏をしてもらおうと募金活動を行ってくださった団体もある。来年の春に東松島市から「青い鯉のぼりプロジェクト」の方たちを光市に招いて太鼓演奏をしてもらおうと、夢の実現を企画している。

◆活動を終えての感想・意見等

今年度も助成をいただきありがとうございました。
おかげ様で、「虹の鯉のぼりプロジェクト」の活動を続けていく為のハード面を中心としたベースを作り上げる事ができました。

子供たちは未来への希望であり、地域の希望です。これからも子供たちの想いを大切に、青少年の健全育成が地域の光となるように、しっかりと取り組んでまいりますので、今後ともご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。